



研究テーマ

挿し木による果樹苗生産方法の開発

台木を利用した新たな果樹栽培方法の開発

組織培養による果樹苗生産方法の開発



鉄村 琢哉

てつむら たくや
農学部
植物生産環境科学科
果樹園芸学研究室

教授

キーワード

果樹、挿し木、種苗生産、植物組織培養、クローン苗、台木、接ぎ木

特許情報・
共同研究・
応用分野など

I. 特許
スノキ属植物の育苗方法(特許 5177349号)
II. 品種登録
カキ *Diospyros L.*
'MKR1' 第 23898 号
(わい性台木)
III. 共同研究
農林水産省 新たな農林水産政策推進する実用技術開発事業「家庭用果樹苗生産にも対応したカキわい性台木挿し木育苗成技術の開発」(平成 21 年度～平成 23 年度)における(株)山陽農園との共同研究
宮崎日日新聞
(平成 21 年 6 月 12 日)



研究概要

落葉果樹(カキ、クリ、ブドウ等)を中心に研究を行っていますが、果樹種苗生産に関わる材料としてはマンゴーやライチ等、(亜)熱帯果樹も研究対象となっています。主に栄養繁殖(挿し木、接ぎ木、組織培養)が研究テーマですが、栄養繁殖した果樹(台木)がどのような成長をするのかを確かめるための栽培試験も行っています。

1 挿し木による果樹苗生産方法の開発

果樹(カキ、クリ、ブルーベリー、マンゴー等)の挿し木による繁殖方法を開発し、台木を含めた苗生産システムの開発に関する研究を行っています(図 1)。



図1 挿し木発根したクリ‘利平’

2 台木を利用した新たな果樹栽培方法の開発



図2 11 年生‘平核無’MKR1 台木樹

我々の開発したカキわい性台木‘MKR1’を用い、現在、18 のカキ主産県公設試験研究機関において連絡試験が行われています。図2は 11 年生の‘MKR1’台木樹‘平核無’で、脚立を使わずに作業ができる高さに抑えられています。宮崎大学の果樹園以外でもこのようにわい化成長するのかどうか、実証栽培園を拡大し、実用化へ向けての検討を行っています。

3 組織培養による果樹苗生産方法の開発

果樹[カキ、クリ、ブルーベリー、ナシ、マンゴー、ライチ(図3)、ユスラウメ、オウトウ等]組織培養による大量増殖方法(マイクロプロパゲーション、マイクロ繁殖)を開発し、台木を含めた苗生産システムを開発する研究を行っています。



図3 ミクロ繁殖中のライチ

ホームページ

果樹園芸学研究室 <http://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/chitose/index.htm>

果樹園芸学研究室フェイスブック <https://www.facebook.com/miyazaki.pomology>

技術相談に応じられる関連分野

- ・果樹の栄養繁殖(挿し木、接ぎ木、組織培養)
- ・カキのわい化栽培

メッセージ

- ・台木を含めて増やしたい果樹があればお問い合わせ下さい(組織培養を使えば多くの果樹だけでなく、木本植物も大量増殖可能です)。
- ・‘MKR1’台木を利用したカキのわい化栽培に興味のある方はご連絡下さい。